

を知って、 と向き合う—— に関する

あなたや、あなたの家族、  
大切な人たちの健康を守るため  
に、ぜひお読みください。がんに  
ついての「7つの誤解」をまとめました。

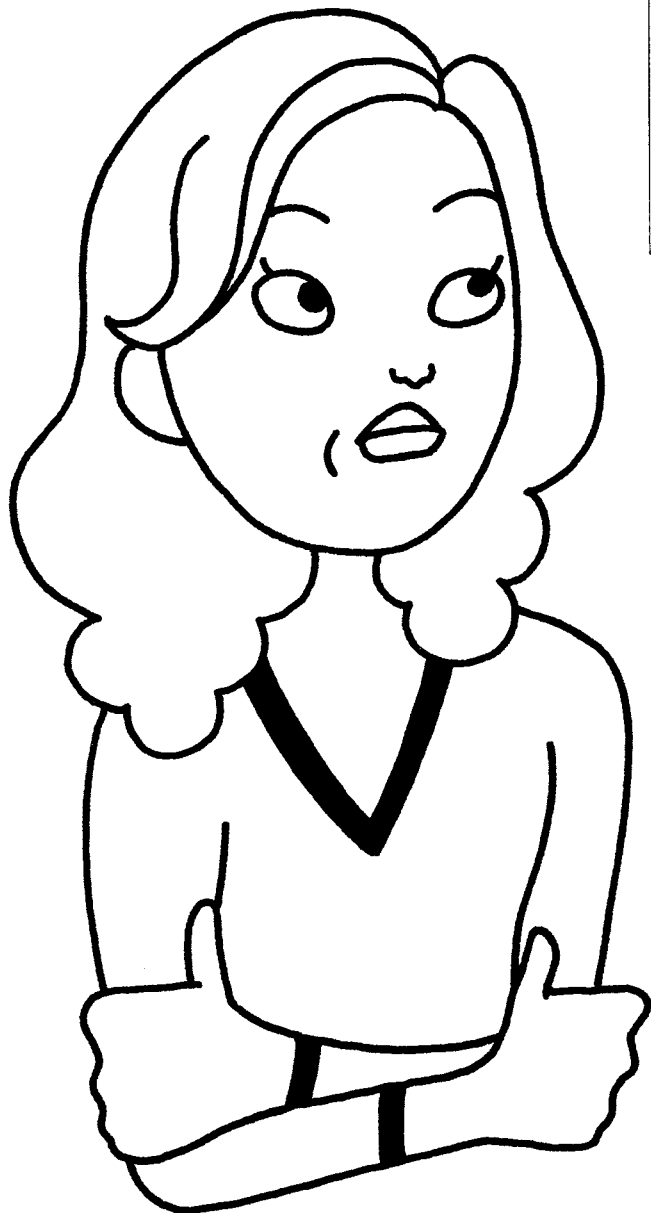


ぜひ、無料がん検診をお受けください。

## 誤解 1

がんなんて他人事だし、  
知識を得るのもめんどくさい。

いま日本では、「2人に1人が、がんになり、3人に1人が、がんで死ぬ」と思ってください。そんながんと向き合うために必要な知識はごくわずか。でも、いずれも重要。



がんについて知ってもらいたいことは、次の9つ。

- ①がんは、DNAが傷ついて起こる、一種の細胞の老化。
- ②日本は世界一の<sup>ちようじゆこく</sup>長寿国だから、世界一のがん大国。
- ③がん治療の3つの柱は、手術、<sup>ほうしゃせん</sup>放射線、<sup>こうざい</sup>抗がん剤。
- ④がんの完治には、ふつう、手術か放射線療法が軸になる。
- ⑤多くのがんで、手術も放射線治療も同じ<sup>ち ゆりつ</sup>治癒率。
- ⑥日本人のがんは、胃がん、子宮頸がん、肝臓がんなどの<sup>かんせんしょうがた</sup>感染症型から、肺がん、乳がん、<sup>ぜんりつせん</sup>前立腺がん、大腸がんなどの<sup>おうべいがた</sup>欧米型のがんにシフト（移動）している。
- ⑦欧米型の多くのがんでは、放射線治療が有効。
- ⑧カラダやココロの症状をとる「<sup>かんわ</sup>緩和ケア」も重要。
- ⑨多くの場合、痛みはとることができるし、痛みを緩和したほうが、寿命も延びるというデータもある。



♥ ぜひ、無料がん検診をお受けください。

中川恵一『がんのひみつ』2008年

## 誤解 2

がんを防ぐための方法は、  
あまりない。



**生活習慣の改善とがん検診の「2段がまえ」が有効。**

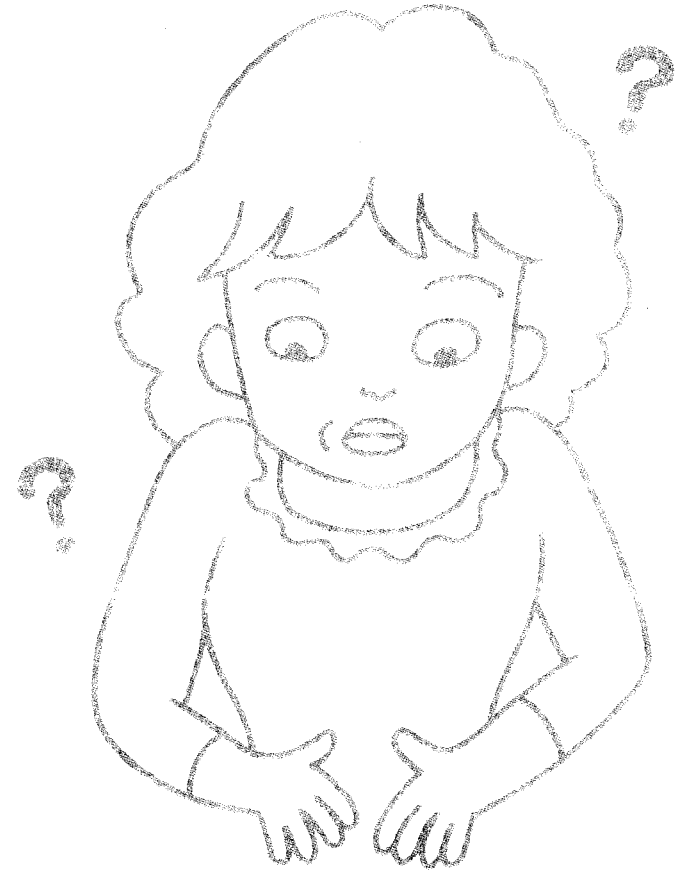
タバコがなくなれば、日本人男性のがんの約3割を予防できるとも言われています。禁煙に加えて、お酒や塩分を控え、野菜中心の食事や運動を心がけると、がんになるリスク（危険性）は減少しますが、ゼロにはならないので、早期に発見して早期治療につなげるための「がん検診」がぜひとも必要なのです。生活習慣の改善とがん検診の2段がまえが、がん で死なないためのポイントです。



♥ ぜひ、無料がん検診をお受けください。

### 誤解 3

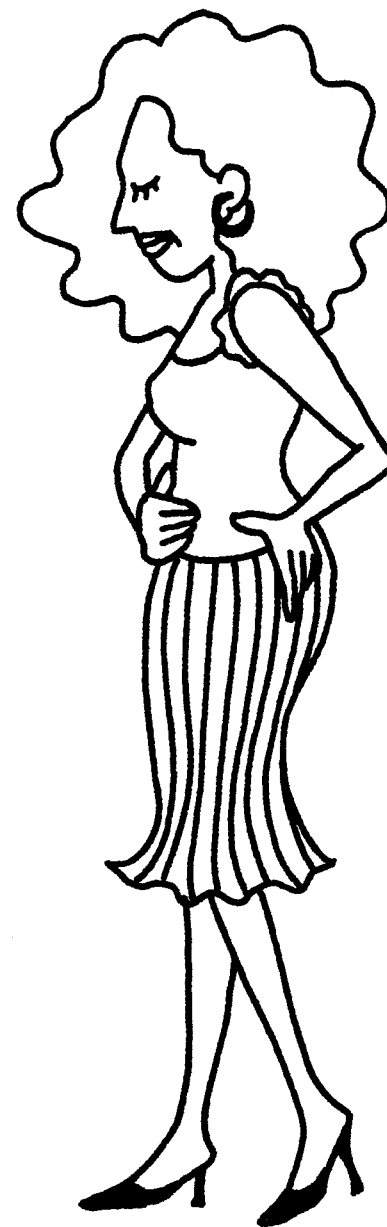
がんのなかでは胃がんが  
だんぜん多い。



### 正解 3

現在、日本でもっとも数が増えているがんは、  
女性では乳がん、男性では前立腺せんりつせんがんです。

以前、日本のがんの代表選手は、胃がんでした。しかし、ヘリコバクター・ピロリ菌などの細菌さいきんが原因のひとつですから、冷蔵庫が普及して新鮮で清潔な食物を口にできるようになって減っています。アメリカでも、冷蔵庫が普及していなかった1930年ころは、胃がんがダントツ1位でしたが、その後激減げきげんして、いまでは、めずらしいがんになっています。逆に、いま日本では、乳がん、前立腺がん、大腸がんが急増しています。これらのがんは、欧米に多いがんで、「食生活の欧米化」による高脂肪食こうしぼうしょくが原因になります。「がんの欧米化」が進行中うつです。がんは社会を映す鏡なのです。



ぜひ、無料がん検診をお受けください。